

ハツシモや岐阜えだまめ、飛騨牛…

食べて甲子園で活躍を

J Aぎふなど 県岐阜商高に贈る



県産農畜産物を贈った櫻井宏代表理事会長(前列右から3人目)、藤塚正和副本部長(同1人目)ら＝岐阜市則武新屋敷、県岐阜商業高校

J Aぎふ、J A全農岐阜は1日、2年連続30回目の夏の甲子園出場を決めた県岐阜商業高校(岐阜市則武新屋敷)の硬式野球部に、県産の米や枝豆、牛肉などを贈った。大会期間中、宿舍での食材として使われ

る。

J Aぎふは県産米ハツシモ100キ、岐阜えだまめ40キ、J A全農岐阜は飛騨牛10キ、美濃ヘルシーポーク10キ、奥美濃古地鶏20キ、飛騨トマト24キ、ペットボトルの美濃いび茶240本を用意。同日、J Aぎふの櫻井宏代表理事会長、J A全農岐阜の藤塚正和副本部長らが同校を訪れ、村山義広校長らに目録を手渡した。

櫻井代表理事会長は「県産農畜産物を食べて、全国制覇を目指してほしい」、藤塚副本部長は「県内の生産者が熱意を持って作ったものを食べて力にしたい」とエールを送った。村山校長は「多くの食材を頂いて本当にありがたい。県民の期待を背負っていると強く感じる」と感謝した。

(棚橋滉斗)